

# セミナー通信

教育実習総合センター



5月号

新緑の五月。兵教大キャンパスの朝は野鳥たちの美しい鳴き声が響き渡っています。

P1の皆さんは、大学院生活にも慣れ、充実した日々を送っていることでしょう。また、P2・P3の皆さんは、夏の教員採用選考試験に向けて、着々と準備を進めていることでしょう。

## ★教採情報 (兵庫県)

兵庫県教育委員会は、昨年度より早い四月二十五日に平成二十九年度教員採用候補者選考試験実施要項を発表しました。昨年度からの変更点を確認し、的確に対応していくことが必要です。

①一次選考  
・七月二日 (土) 集団面接  
・七月二十四日 (日) 筆記試験

②一次試験に集団面接を実施

③選考試験加点基準が明記

願書受付は平成二十八年五月六日 (金) 午後五時(水)



受験する県市が、どのような教育を進めようとしているのか、また、どのような先生を求めているかを把握し準備を進めていくことが大切です。

例えば、兵庫県が進めようとしている教育の基本理念とめざすべき人間像は次のように示されています。(第二期「ひょうご教育創造プラン」より)

**基本理念**

兵庫が育む ころ豊かで 自立した人づくり  
一学び、育て、支えるひょうごの教育一

**めざすべき人間像**

① 知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人

② ふるさとを愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の兵庫を切り拓き、日本の未来を担う人

③ 我が国の伝統と文化を基盤として、創造性やチャレンジ精神をもって国際社会に貢献できる人

## 教員採用試験日程一覧表 (平成28年5月11日現在)

受験地	第1次試験	第2次試験・備考
千葉県	7月10日	8月19~28日
東京都	7月10日	8月20・21・28日 (面接) 9月4日 (実技)
神奈川県	7月10日	8月8~26日
横浜市	7月10日	8月上旬以降
川崎市	7月10日	8月10日 (実技) 8月12~9月16日 (面接)
静岡県	7月9・10日	8月17~19日
長野県	7月9・10日	8月18・19・20・22・23・25・26日
愛知県	7月23日	8月23・24日
相模原市	7月10日	8月7日~16日
岐阜県	7月23日	8月16~19日
京都府	7月2日 (筆記) 7月16~18日 (面接)	8月16日~25日 (実技・面接)
大阪府	7月2日 (筆記)	2次7月23・24・30日 (面接) 3次8月20~28日 (実技・筆記) 8月下旬~9月下旬 (面接)
大阪市	7月2日 (筆記) 7月23・24日 (面接)	8月21日 (筆記) 8月17・18・19日 (実技) 8月中旬~9月上旬 (面接)
兵庫県	7月2日 (集団面接) 24日 (筆記)	8月中~下旬
神戸市	7月2日 (筆記)、24日 (実技) 7月22~28日 (集団面接)	8月19日午前小論・午後実技 8月20~9月2日 (面接)
奈良県	7月9日 (筆記) 7月16日~18日 (集団面接)	8月13・14日 (実技) 8月15日 (集団面接 (討議)) 8月17~21日 (個人面接)
和歌山県	7月2・3・9日 (面接) 24日 (筆記・論文)	8月20日・21日 23~25日 (面接)
滋賀県	7月9日 (筆記) 16・17日 (面接)	8月17~31日
岡山県	7月9・10・16・17日	8月20~24日
三重県	7月23日	8月18~30日
島根県	7月17日 (筆記)	8月27~9月3日
山口県	7月16・17日	8月20~23日
徳島県	7月24~31日	8月16~26日
香川県	7月16・17日 (筆記・実技・適正) 7月17~18日、21~23日 (集団面接)	8月19~23日 (小論文・模擬授業・面接)
愛媛県	7月21~24日	9月7~10日
福岡県	7月16~18日	8月下旬~9月上旬
福岡市	7月3日 (筆記) 7月23・24日 (面接)	8月12~26日
熊本県	7月17日	8月21日、22~26日
大分県	7月17日	2次8月10~19日 3次9月19~25日
沖縄県	7月17日	8月19~21日

平成二十九年度の教員採用試験日程一覧表を左にまとめました。未発表の県市においても、各県市のホームページで選考試験説明会の案内を掲載しています。日程と内容の確認はもとより、大学院在学者・進学者に対する特例の資格要件や内容等も県市によって微妙に異なりますので、注意深く確認しておく必要があります。正確なリサーチを行い、無理のない受験計画と教採対策を立てて選考試験に臨んでいきましょう。

## ■教員採用試験実施方法の傾向

文部科学省の調査によると、平成二十七年年度に実施された教員採用試験で、小学校については、外国語活動に関する筆記試験を52県市、実技試験は23県市が実施していました。(前年度比各3県市増) 小学校の試験で英語力を重視する傾向が強まっています。面接試験は、個人面接を全68県市が実施し、面接試験は、個人面接を併せて行っていました。兵庫県でも、今年度から一次選考から集団面接が新たに実施されることになっています。

## ★教育実践セミナー 「教育講演会」から

演題「教える」から「育てる」に  
講師 神河町立神河中学校 高橋浩之先生  
主幹教諭 高橋浩之先生  
四月二十日(水)開催



学校の陸上競技部顧問として輝かしい実績をあげられ、生徒指導面においても「育てる」ことの大切さを説かれる高橋先生。情熱溢れるお話を聴くことができました。将来、教員を目指す各コースの大学院生、アドバンスト実習受講生の熱い眼差しの中、約2時間の講演があつたという間に過ぎました。高橋先生、ありがとうございました。ここに、参加者からの感想の一部を掲載します。

## ●講演を聴いての感想

教師という仕事の厳しさ、責任の大きさと同時に、仕事のやりがいなども大変参考になりました。加えて生徒指導の時、生徒側の「考え、気持ち」を自分自身で考えながら行うことが大切なんだと改めて思いました。特に私がはつとさせられたのが「三日坊主の繰り返し」という考えです。教師という責任が重い仕事



今日、高橋浩之先生から聴かせて頂いたお話は、今年、実地研究で現場にいく自分にとって、とてもためになるお話でした。服装が乱れている子どもには「今日は許すから、明日は子供にも意地があるため、頭ごなしではすぐ元に戻してこい」と言う。理由は子供にも意地があるため、頭ごなしではすぐ元に戻してこい」と言う。理由が乱れている子どもには「今日は許すから、明日は子供にも意地があるため、頭ごなしではすぐ元に戻してこい」と言う。

「教える」という言葉が、育てるには時間がかかる」という言葉を大切に指導にあたり、何ができたかも大事ですが、子供の自己ベストをほめることができる教師になりたいです。

この講演会では、教師としての生き方だけでなく、人としての生き方もたくさん学ばせて頂いたと思っています。色々な言葉が心に残っています。色々のためと言いつつ、自分のために残っていた」というのは本当に印象に残りました。自分の思い通りになってほしいから指導するのはなく、子供をどう育てるかというのを考えて指導することが大切だと思いました。子供とたくさん関わり、近くで見つめ、成長を見守ってほしい教師になりたいと思いました。

高橋先生のお話を聴いて、子供との関わり方を改めて考えることができました。自分も含め、教師という立場にいると、どうしても子供に立ち、指導しなければならぬと感じてしまいがちですが、それ以上に子供から教わることもあったり、一人一人の子供たちを見つめたり、涙が溢れる感動をくれたり、学び、教師として頑張ることが多いことを知りました。先生のように、失敗から自分を見つめ直すこと、「三日坊主」を繰り返すことを頭において、子供を「育てる」、長く頑張れる教師になりたいです。本当に感謝しました。ありがとうございました。

●編集後記... 6月号では他の各県市教採情報を掲載します。昨年度に比べ、一次試験を早める県市があります。しかし、採情報「融合」を目指す本学教職大学院生として、大きな志と使命感を抱き、一日の修学を積み重ねていきたいと思います。大いに当センターを活用下さい。

